

団体名	下総考古学研究会
図書・雑誌名	<p><b>下総考古学 25号(2020年5月刊行 249頁)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>—内容—</b></p> <p><b>I. 〈小特集〉阿玉台式土器の研究(2)</b>  ※縄紋中期・阿玉台式土器研究史関連論文 4本(大村裕、小林謙一、小澤政彦執筆)、阿玉台式土器の出土状況の批判的検討論文 1本(合田恵美子執筆)</p> <p><b>II. 千葉県松戸市中<sup>なかびょう</sup>峠遺跡(縄紋中期)第8次調査報告</b>  ※壮年男女2体と小児2体が床面上から検出された住居址の覆土と人骨出土状況の詳細な記載と分析(写真図版も豊富)  ※8次におよぶ中峠遺跡検出遺構のライフサイクル的分析</p> <p><b>III. 付編(※中峠遺跡第8次調査関連の個別研究)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中峠遺跡第8次調査出土の動物遺体(植月学)</li> <li>2 中峠遺跡第8次調査第2号住居址炉体土器およびこれと同一個体の可能性ある土器片の胎土分析(建石徹・奥山誠義・小倉頌子・川崎衣美)</li> <li>3 中峠遺跡第8次調査出土人骨にみられた齧痕と埋葬環境復元における意味(植月学)</li> <li>4 中峠遺跡第8次調査第1号住居址内における人骨の出土状況について(山田康弘)</li> <li>5 中峠遺跡第8次調査出土土器の文様割付(小林謙一)</li> </ol> <p><b>IV. 房総地域の縄文時代中期の大形石鏃</b>  —東長山野型石鏃の展開とその意義—(大工原 豊)</p>
連絡先	大村 裕(千葉県佐倉市臼井台 213-19)
附記	六一書房で委託販売しています